

原告主張へ反証提起

十一日午後二時から福岡高裁で 平賀現三川鮎長と島田通氣係長を  
上村裁判の公判が開廷。会社側が  
証言台に立て、主尋問を行なつ

政策見直し行動強める

炭労は十八日に札幌で開く臨時大会での意思統一にもとずき、いよいよ秋季闘争に取りかかる。根本に横たわる石炭政策の見直しを求めながら要求の獲得をめきしてゆくが、全炭鉱労働者の力の結集が今ほど強く求められているときはない。

炭労はいよいよこれから秋季闘争にとりかかるが、それとともに、目にも当然過ぎることである。

求に、患者は定年まで解雇させてはならないというのがある。

## 救護隊手当

## 期末手当要求

秋季闘争と同時に、下期期末手

# いよいよ秋季闘争へ

## 退股手当要求

炭鉱労働者の現行退職手当は、要求は大きいといえば、じん肺法労働の本来の性格から見て非常改正、労災法改正にともなう協定にみじめなばかりでなく、他の産の見直しが中心となる。

業のそれに比べてもかなり低く、その大幅な引き上げは長年の課題となってきた。

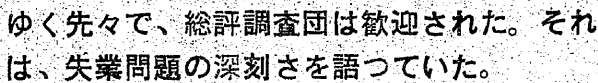
この頃三池炭鉱の合理化はますます激しさを増し、坑内外でじん肺病多発の危険性が増しているだ

せめて坑外に働く労働者で、三  
十年勤続して停年を迎える場合、  
二千万円となる退職手当を要求し  
て、これを加えている。

組合、「前進祈る」と激電

多くの労働者が死亡したばかりでなく、十三柱もの遺体が水没して、この一日生産を再開することができた。

きないほどの大災害をひき起こし、大災害のため生産が停止して以来「これは炭労の政策闘争の勝利だ」と、ズバリいつてのける人がある。



筑豊へ総評調査団

十二日から十三日にかけて、総評の失業・雇用問題調査団（富塚区労働者の命と権利を守る闘いの総評事務局長が団長）が岐阜にはいつて活動したが、一行は同地域画に着手した。

数の長期間安定した石炭供給基地となるものと確信いたしておりましてと述べている。

（この古の合併案、労働者にも）

## 解説—有明合併の意味

かねて進められていた宮浦鉱の三川鉱への統合、有明炭鉱の三池炭鉱への合併は、十月一日計画通り実現したとして、会社は合併披露まで催し、「会場にも響く坑道實

つて以来死者さえ出す深刻な合理化となり、まさにそれは労働者の犠牲のうえに実現したものだ。当の有明鉱の坑底の労働のげしきは、「地獄の職場」と取り沙汰され、三池全山の労働者にも秒刻みの重労働の押しつけとなり、「何でも屋方式」の言葉も生まれたように、坑内労働者は職種を飛び越えて仕事に追いつてられ

てきた。

「通の音」とよ  
ろこんでいる。  
(社内報)「くろ  
だいや新聞」の  
日曜・休日出勤は慢性化し、炭  
労が闘いによって折角設けること  
ができた特定休日までも取りあげ  
てしまう動きさえ際立ってきた。  
掘進や採炭などに働く労働者

のため四山、三は、までもじん肺患者が多発するのをともつやまとなのではと恐れ、坑外の各職場にも合理化の悪影響が広がっている。有吉社長は披露宴での式辞のな

露夏での式辞で、  
「以後は一日も早く百万ト  
ン体制を確立し、保安を維持しな  
がら石炭の安定供給をすることがな  
るまで」と、決して平た  
らぬもの責務である」と、と云つて

その後の開発は順  
長に至り六十万ト  
になり、百万ト  
ますますはげしく生産にかり立て

「た」と報告。「本  
報という段階を迎  
ることを予告するものでしかな  
い。」と報告。このことはいよいよ、三浦炭鉱  
に働く全労働者が「ついで団結」した

「信じたしておりま  
ければならぬことを教えている  
のではないか。」

の表現にとりかか

証人の親族、あるいは主人などが刑事上処罰されるおそれのあるときは、やはり証言を拒むて刑事上二偽証としてウソの証言

とができます。

民事の裁判も刑事の裁判の場合もだいたい同様です。刑事の裁判では、被告人に不利な正言

することになりま  
したため、うらま  
れて危害を  
加えられるとい  
うこともありま  
すが、その場合  
は国家から養  
育を受けること  
になりま  
す。

密や技術上の秘 給付などが受けられます。